

# 環境報告書2022

NECファシリティーズ



# CONTENTS

ごあいさつ	3
会社概要	4
事業概要	5
環境方針	6
会社組織図	7
環境管理組織図	7
2021年度 環境活動ハイライト	8
1. 省エネルギー対応	
2. 省資源対応	
3. 災害対策ソリューション	
4. 環境コミュニケーション	
2021年度 環境負荷データ	13
2021年度 環境管理活動目標・実績	14
環境負荷バランス	14
2022年度 環境管理活動計画	15
環境コンプライアンス状況（法令順守）	15
関連HPのご紹介	15
連絡先等	巻末

## ごあいさつ

NECファシリティーズは、工場施設運営を経営戦略としてとらえ、お客様のFactory life cycle management（用地取得、工場建設、施設管理、工場改修等）にTotal IFMで貢献する企業です。お客様の立場に立って、多角的な事業見地で工場施設運営の計画立案から運用までを一括でアウトソーシングが可能です。これにより、お客様はリソースをコア事業に注力することができ、お客様の経営効率と成長力を高めます。

Total IFMは、当社が展開する施設管理事業、建設事業、環境事業、不動産事業、保険事業の5つの事業のシナジーで、管理・修繕を中心とする従来の施設管理よりも包括的で、経営的な視点から全体最適を実現します。そのために私たちは施設・設備の構想や選定、調達方法の選択、維持・運用などを、5つの事業領域での専門力を統合的に運用し、お客様の経営基盤の一つである工場施設を支えています。変化する事業環境、増大する自然災害リスク、不安定なエネルギーコスト、厳しい環境規制などにより、工場施設運営の分野においてもますますデジタル化への取り組みが急務となっております。私たちはNECグループのIoT・AI技術を活用した、NEC DX Facility Management Serviceにより、お客様の工場施設運営の最適化をはかってまいります。

2021年度もさまざまな環境事業を展開いたしました。特に、

- データセンター等における国内トップクラスの省エネ性能のご提供
- 排気処理・排水処理の設備工事に関する環境ソリューションのご提供

について、お客様より多くのご支持、ご好評をいただきました。

今後も当社の事業を通じ、全社をあげてご支援、環境貢献に努めてまいります。

この度、2021年度に当社が行った環境活動を「環境報告書2022」として発行し、ご紹介させていただく運びとなりました。

つきましては、是非ご高覧いただき当社の環境活動への取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

NECファシリティーズ株式会社  
代表取締役執行役員社長

**松下 裕**



## 会社概要

社 名 : NECファシリティーズ株式会社 (略称:NECF)

創 立 : 1966年12月

本社所在地 : 〒105-0014 東京都港区芝二丁目22-12 (NEC第二別館)

資 本 金 : 2億4千万円

代 表 者 : 代表取締役執行役員社長 松下 裕

従 業 員 数 : 1,722名(2022年4月1日現在)

売 上 高 : 1,167億円(2021年度:NECF単独)

## 会社の沿革

1966年  
12月

日電興産株式会社 創立

1993年  
10月

日電興産株式会社が株式会社NECファシリティーズに社名変更

2001年  
4月

株式会社NECファシリティーズより、オフィス管理・セキュリティ事業の営業譲渡を受けた  
NECコンストラクション株式会社と、NEC環境エンジニアリング株式会社が合併し、  
NECアメニプランテクス株式会社に社名変更

2004年  
10月

株式会社NECファシリティーズとNECアメニプランテクス株式会社が合併し、  
NECファシリティーズ株式会社に社名変更

# Total IFM

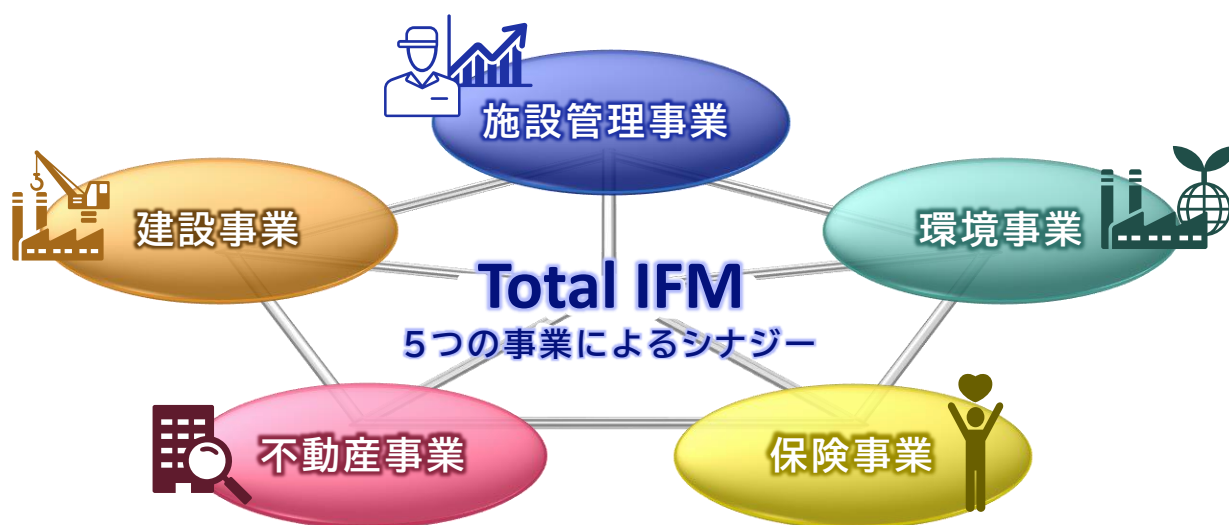
Total Integrated Facility Management

多様化するニーズに的確に対応し、  
お客様の潜在的な課題まで解決します。

当社は、お客様の重要な経営資源である工場施設のFactory life cycle managementにTotal IFM(施設管理、建設、環境、不動産、保険の5つの事業のシナジー)で貢献する企業です。

私たちの大きな特長は二つ。一つは、5つの事業がお互いに連携を図ることにより、幅広い視点からお客様の課題やニーズに対応できること。もう一つは、5つの事業においてさまざまな公的資格取得者を擁する“工場施設運営のプロフェッショナル集団”として、お客様の潜在的な課題まで見いだして解決策を提案できる点です。

お客様の資産価値を維持・向上させ、より効率的・安定的な経営環境を実現するビジネスパートナーとして、各事業分野の総力を結集して多彩なサービスを創出していきます。



# 環境方針

## 基本方針

NECファシリティーズは、不動産、建設、オフィス管理、プラント施設、環境、保険の事業活動を通じて、一人ひとりの意識の向上を図り、人と地球に優しい循環型社会の形成と環境保全に貢献します。

## 行動指針

1. 全ての事業領域において企画・計画の段階から環境・安全に配慮し、省資源・省エネルギー、廃棄物発生抑制、再利用・資源化を進め環境影響の低減に努めます。
2. 環境に関する法規制・条例や自主的な取り決め事項を順守し、お客様や社会への責任を果たします。
3. 経営活動の一環として環境目的・目標を設定し、改善活動を展開すると共に定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
4. 環境方針は、従業員への環境教育・訓練の徹底と共に、協力会社への指導・支援を含め周知し、一般の人が入手可能なように開示します。

第六版  
2019年6月21日  
NECファシリティーズ株式会社  
代表取締役執行役員社長  
松下 裕

\*環境方針は社外のどなたでも入手又は閲覧できます。

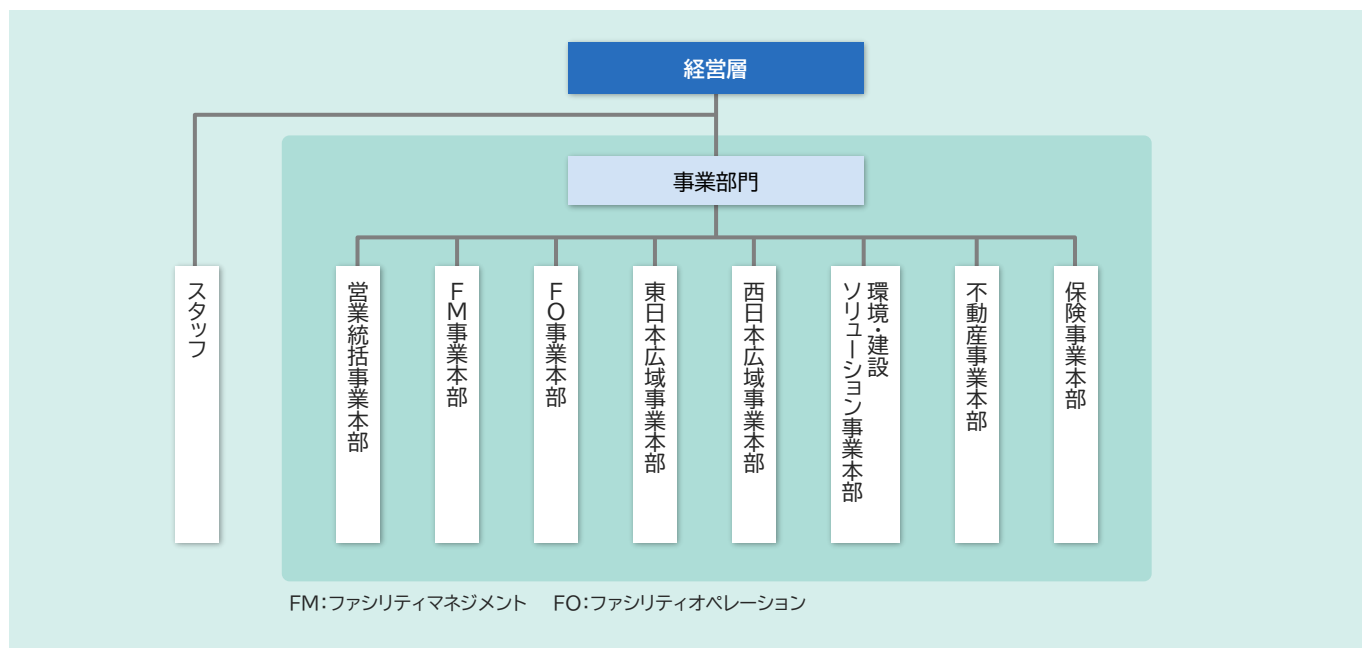
## ● ISO14001 認証状況

審査機関 : 一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)  
登録日 : 1997年10月31日  
登録証番号 : JQA-E-90066  
登録事業者名 : NECファシリティーズ株式会社  
東京都港区芝二丁目22-12(NEC第二別館)



環境国際規格「ISO14001」認定登録証

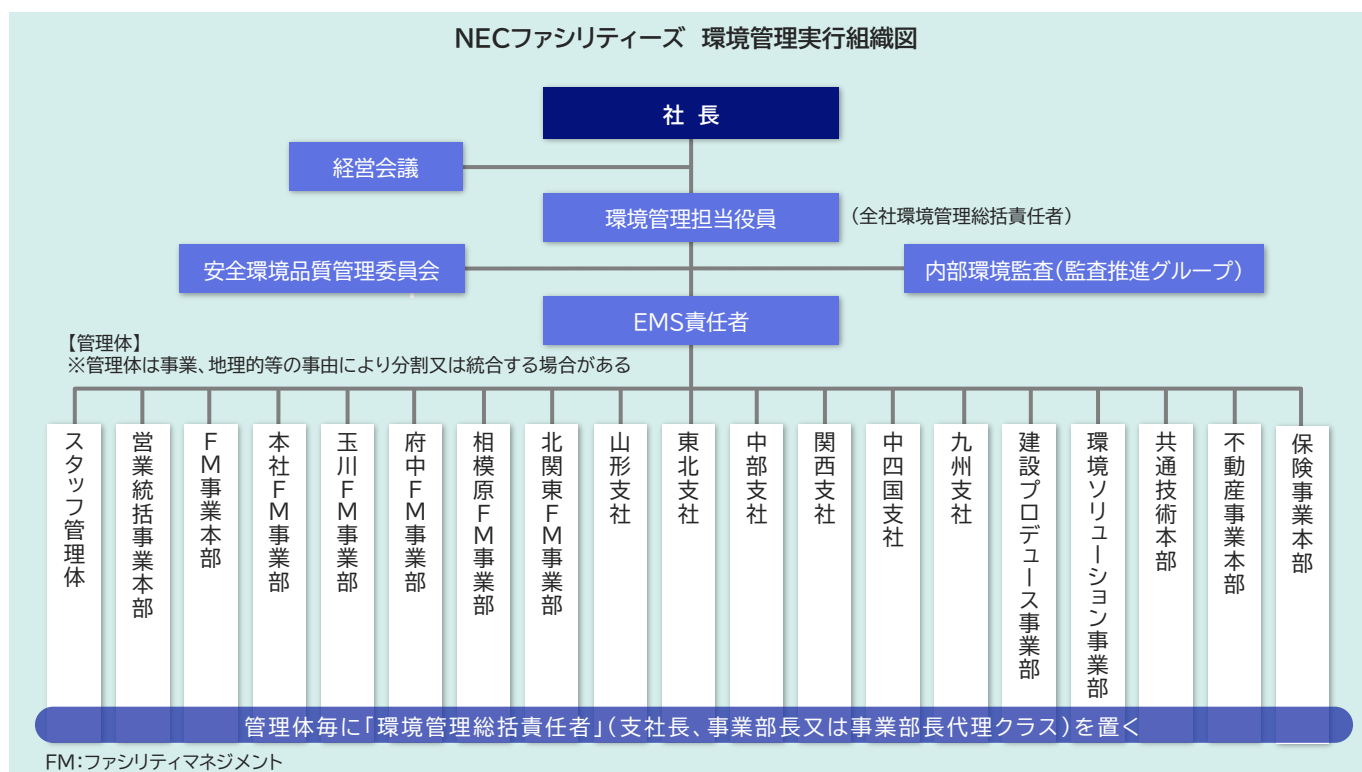
# 会社組織図



※2022年7月1日現在

# 環境管理組織図

当社では、経営会議により方針を決定し、それを受け、全社環境管理総括責任者による環境管理活動を展開しています。日常の活動は、環境マネジメントシステム責任者(EMS責任者)が取りまとめを行い、各管理体(事業部門)選出の環境管理総括責任者/統括責任者等によって環境マネジメントが実行されています。また、重要事項は環境管理総括責任者で構成される安全環境品質管理委員会により協議、伝達されます。



※2022年7月1日現在

# 2021年度 環境活動ハイライト

## 1. 省エネルギー対応

### ■省エネルギー対応の最適化ソリューションをご提供

当社は、データセンターの立地ロケーション選定から企画、構築、運用管理面までをワンストップでご支援し、「省エネを進めたい」「運用コストを減らしたい」などのニーズに対するトータルサポートを行っています。

ZEB※1についてはコンサルティングから、設計・施工、実現後の施設管理の運用フェーズまで、一貫したサポート体制が特徴です。

※1 Net Zero Energy Buildingの略称

#### 【特別養護老人ホーム建替えプロジェクト】

ZEBや省エネ建築物の設計技術があり、その設計/施工/コンサルティングを行うものは「ZEBプランナー」と定められ、これをSII※2が公募しています。

当社は「ZEBプランナー」登録企業で、ZEBコンサルティングを行った「特別養護老人ホーム 白寿園」の建築物は、ZEB認証所得を受けています。

※2 一般社団法人 環境共創イニシアチブ Sustainable open Innovation Initiative (略称:SII)

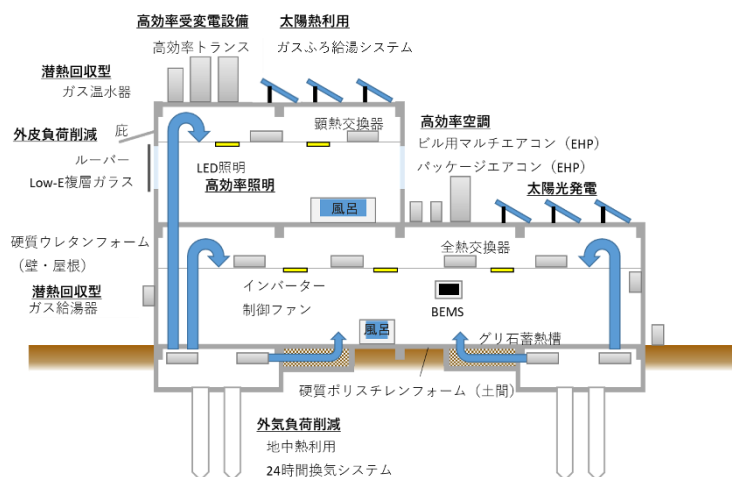


特別養護老人ホーム 白寿園

#### 【省エネ・創エネ設備を導入】

この建築では太陽熱温水システム、潜熱回収ボイラー、高効率空調機、全熱交換器、調光・人感センサー及びタイマー制御LED照明、Low-E複層ガラスの導入等も提案しています。

これら各種省エネ・創エネ設備の提案の結果、設計上の建物の消費エネルギーを67%削減しています。



多くの省エネ・創エネ設備を導入

この他にも、高付加価値機能をビルトインした次世代データセンター構築等の支援を行い、お客様から省エネ等に対するご好評をいただきました。

### 高付加価値機能をビルトインした次世代のデータセンター構築を支援

#### コンセプト

##### 高信頼性

- 高度な耐震、耐水耐火性能
- セキュリティレベルの重層化
- リスクポテンシャル(立地脅威)評価と適正対策

##### グリーンデータセンター

- PUE※3値の適正化
- 省電力、高効率化
- クリーンICTの推進

##### コストパフォーマンスの最大化

- LCC※4の低減
- レンタル比の向上
- ローコストとパフォーマンスの両立



#### アイテム

- エアフロー
- LOW-Eガラス
- 高圧直流給電
- サーバ仮想化と連動した空調システム
- 空調水冷化
- フリークーリングシステム
- 高効率機器
- 熱気流解析による空調最適化
- 外気冷房
- ホットアイル強制排気システム
- 太陽光発電・風力発電
- 免震構造
- LED照明+人感センサー
- 夜間電動利用(蓄熱)
- 地中熱利用ヒートポンプ
- エコキュート
- リチウムイオン電池UPS
- 室外機冷却システム
- 変風量方式
- 調光制御
- 節水型便器
- 中水利用
- 超高効率高圧トランス

※3 Power Usage Effectivenessの略称 (データセンターの電力使用効率を表す指標)

※4 Life Cycle Costの略称

## ■再生可能エネルギーソリューションをご提供

当社は、太陽光発電システム導入において、現状把握から最適提案、発電量・日影シミュレーション、設計・施工、効果確認、メンテナンスまでワンストップ体制で取り組んでいます。

2021年度も多くの太陽光発電システムをご提供しました。



## 【ご提供事例】

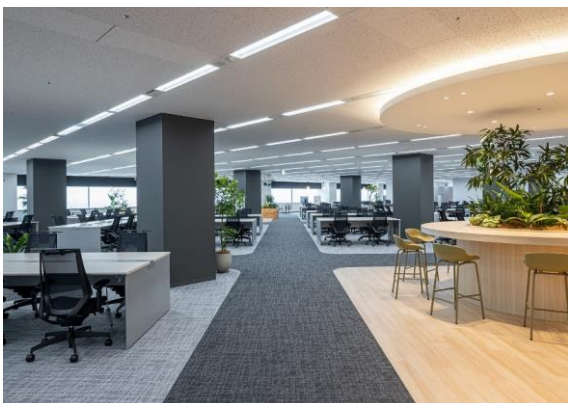


## 【太陽光発電システムのご提供プロセス】

	① 導入前検討	② 立案	③ 基本設計	④ 実施設計	⑤ 各官庁等協議	⑥ 構築	⑦ 評価	⑧ アフターフォロー
お客様	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目的の明確化</li> <li>● 導入時期検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設計プランの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工事契約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各申請書類の承認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定例会議にて進捗確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売電開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維持管理委託</li> </ul>
NECファシリティーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ニーズの確認</li> <li>● 既存図面入手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物構造計算</li> <li>● 設置建物確認</li> <li>● 設置場所確認</li> <li>● 周辺環境確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パネル割付</li> <li>● 配線ルート</li> <li>● 発電、日影シミュレーション</li> <li>● 地盤地下対策</li> <li>● 概算金額提出</li> <li>● 投資回収試算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 詳細設計</li> <li>● 施工図作成</li> <li>● 官庁届出用技術データ収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電力会社</li> <li>● 地方経済産業局</li> <li>● 地方自治体</li> <li>● 各スケジュール確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工管理</li> <li>● 定例会議にて進捗報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発電量の確認</li> <li>● 導入変換機器効率評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 維持管理</li> <li>● 定期点検</li> <li>● 定期修繕</li> </ul>

この他、多くのお客様へさまざまな省エネルギー対策ソリューションをご提供しています。

- 建物：屋根の断熱性能改善、窓の断熱性能改善、自然エネルギー利用型建築 等
- 空調：空調機リプレース、換気量制御、換気からの熱回収 等
- 電気：高効率変圧器、力率改善、分散発電 等
- 照明：高効率器具への更新、LED機器、センサー照明、調光システムへの交換 等
- 動力：インバーター制御、ポンプ再生施策、高効率機器へのリプレース 等



LED照明の新オフィス



高効率機器のマシンルーム

2. 省資源対応

■ プラント構築経験をもとに陸上養殖事業に参画

近年、世界的な人口増と食の多様化により将来的な魚介類の供給不足となる恐れが問題視されており、自然界での漁獲量の限界が危惧されています。このような社会的環境の中、当社では、NECグループ会社が推進するデジタル技術を活用した陸上養殖事業に参画し、山梨県南都留郡西桂町に立地する、富士・桂川ファクトリーの建設を2022年の完工に向けて当社が元請となり建設工事を開始しました。

今回の富士・桂川ファクトリーには、海や湖沼などの天然の養殖環境が存在しない陸上に、養殖場を建設しクリーンな地下水を建物内で循環させて魚を育成する閉鎖循環型陸上養殖システムを導入します。



【完成イメージ】※透過鳥瞰図

(C)2021 株式会社現代建築研究所

名称;富士・桂川ファクトリー  
 所在地;山梨県南都留郡西桂町倉見地区  
 敷地面積;約12,000㎡ -2021年3月 土地造成工事着工  
 建築面積;約4,000㎡(延床面積) プラント棟・パーキング棟  
 主体構造 /鉄骨造2階建て

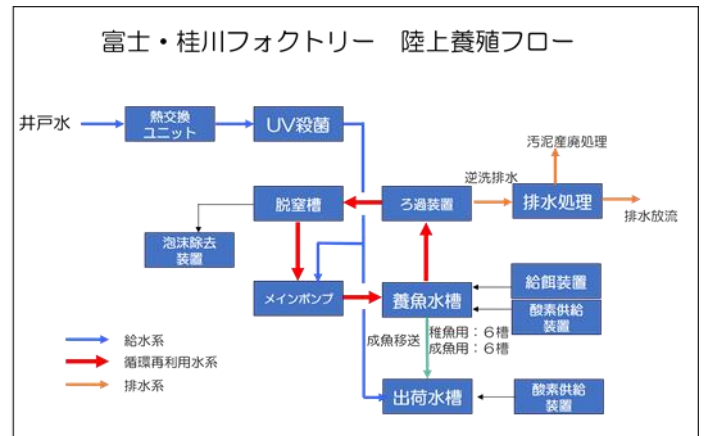
【閉鎖循環型陸上養殖システムの特徴】

自然界の漁獲量減少に対し、異常気象や季節に左右されない、立地場所を選ばない、山間部などでも設置可能、工業化された安全、安定な成育、生産環境がつかれる、という利点のある陸上養殖方式が注目されています。

さらにRAS(Recirculating Aquaculture Systems)と呼ばれる閉鎖循環型養殖システムが着目されており、水質をコントロールし、水資源を最小限の使用量として90%の水量を循環再利用することで節水、および排水量の削減にもつながる方式が今回の設備でも採用されています。

一方、建設コストや電力費などの面ではデメリットなることもあることから、当社は、基本となる循環濾過養殖システムの企画・設計段階より当社の持つ建築設計施工、並びに半導体工場等における造排水設備の設計・施工で培ったノウハウを結合させることで、循環濾過養殖システムの仕様に合わせた最適な建設計画をマネジメントすることで参画、協力しております。排水の廃熱利用により、電力換算で488kwhが削減可能になりました。

異常気象や季節変動といった環境の変化や病原菌の心配もなく安定した養殖が可能となるため、年間を通じて安全・安心で美味しい魚を生産することに引き続き貢献してまいります。



かけ流し方式と閉鎖方式 陸上養殖のメリット・デメリット  
 【凡例】メリット デメリット

項目	かけ流し方式	閉鎖方式	富士・桂川ファクトリーの特徴 (閉鎖方式)
施設整備	揚水ポンプ、水槽等	循環ポンプ、水槽、ろ過槽等	循環水利用率効率化 (再利用水率90%)
立地条件	取水可能な臨海部	制限なし (内陸可)	西桂町の富士山麓域に設置
環境負荷	残餌・糞等の負荷有り	海への負荷無し	濾過処理により負荷軽減
養魚への疫病対策	海からの病原体侵入の恐れ有り	病原体侵入の恐れ無し	UV殺菌を導入
温度調節	ある程度可	調整可能	ICT導入による管理
成長速度	適水温以外では遅い	温度調整可能なので早い	ICT導入による管理
生産コスト	安価	温度調整・ろ過槽の維持費が高い	排熱再利用によりランニングコスト削減 (488kwh)

## ■ 自動車保険/傷害疾病保険のWeb化

当社は、災害リスクに応じた保険のご提供や環境に配慮した保険手続きも行っています。ペーパーレス推進のために、保険証券が発行されないNECグループ団体傷害疾病保険(安心丸)の加入状況や、補償内容を当社ホームページから閲覧できるようにしております。

(2022年4月現在加入者数:約29,500名)

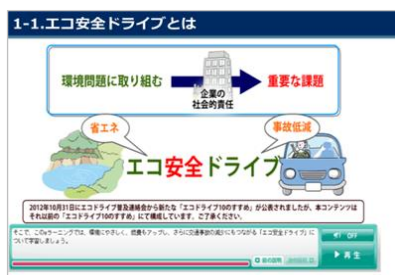
また、毎年10月に実施しております安心丸の定期募集において、環境負荷軽減の観点から従来の“紙資材配布による募集”⇒“Web募集”への切替を推進しております。2021年度はグループ13社で完全Web募集を実現(対象:約66,000名)。これにより紙での配布物については、A3版換算で約90万枚の削減となっています。

団体傷害疾病保険 Web加入状況票

## ■ エコドライブ講習会の継続実施

当社は、NECグループ各社及びグループ従業員に対し、安全運転講習会や、安全運転適性診断を実施し、エコドライブ推進等の環境改善活動に取り組んでいます。エコドライブはCO2削減による環境改善の他、事故を削減することにより、NECグループ従業員および一定要件を満たす退職者に適用される「団体扱自動車保険」大口団体割引率の維持拡大(2022年6月時点割引率:32.5%)にもつながっています。

また、新たな取り組みとして当社が取り扱う自動車保険契約企業で社有車を運転する従業員向けに、ドライブレコーダー映像を活用した自学自習スタイルの交通事故防止教材の無償提供を2022年3月より開始しました。ドラレコのリアルで身近な映像で、自身の運転を振り返り、運転行動を変える効果が期待できます。



Web研修:エコ安全ドライブ



ドライブレコーダー映像を活用した交通事故防止教材

## 3. 災害対策ソリューション

### ■ 委託先の緊急対応訓練

大地震、津波、集中豪雨(豪雪)などを想定した訓練を行うなど、環境リスクはもとより地域特性や気象変動を考慮したさまざまなテーマで訓練を実施しました。

また、当社が受託する環境関連施設からの重油漏洩を想定した訓練も実施しました。

これにより、迅速な緊急対応力の向上はもとより、備品・器具等を効率的に運用・見直すことができました。

2021年度は、NECグループ外を含めて319件の訓練を実施しています。



電気設備の高上げ洪水対策



灯油漏洩を想定したボイラー緊急停止



薬品漏洩時の対応訓練

## 2021年度 環境活動ハイライト

### 4. 環境コミュニケーション

#### ■ 環境対策セミナーの開催

2021年度もコロナ過の影響を考慮して、多くの環境展示会への参加が自粛となりました。このため当社ではお取引先企業を対象に、Zoomを利用した環境対策オンラインセミナーの開催を継続、感染対策に十分配慮して一部の集合セミナーを開催しました。省エネ技術、高効率施設管理など多くの当社の持つ環境関連技術をお取引先の皆様へご紹介することができました。



環境対策セミナー（Zoom開催）のご案内



データセンター市場動向・構築に関するセミナー

日本の製造業を代表する電子デバイス製造企業を固定メンバーとして、半導体工場運営ファシリティ分科会を通年で4回、参加企業の拠点で開催しています。

ファシリティ部門の管理職の方を対象とし、講義型ワンウェイ方式ではなく、エネルギーマネジメントや効率的な施設管理運営など抱える課題や深めたい知見を参加企業間で議論したり、意見交換を行う場となっています。



半導体工場運営ファシリティ分科会

#### ■ 生物多様性保全・地域とのコミュニケーション

環境イベントも少しずつ再開されるようになり、当社が常駐する事業所の生物多様性保全活動・地域社会貢献活動の開催支援や活動参加を行いました。また、当社は神奈川県大井町で事業活動を行う企業として、大井町が創設した「おおいまちSDGsパートナー」に登録されました。これは長年にわたる事業拠点での省エネ等の環境負荷低減の取り組みや、大井町が主催する「酒匂川統一美化キャンペーン」への積極的な参画等が認められたものです。

##### 環境活動支援/参加事例

- 2022.05.08 NEC湘南テクニカルセンター（STC）「酒匂川統一美化キャンペーン」
- 2022.05.22 大分FM事業所「大新田ビーチクリーン」
- 2022.06.09 NECパーソナルコンピュータ 米沢事業場「会社周辺クリーン作戦」



酒匂川統一美化キャンペーン（STC）

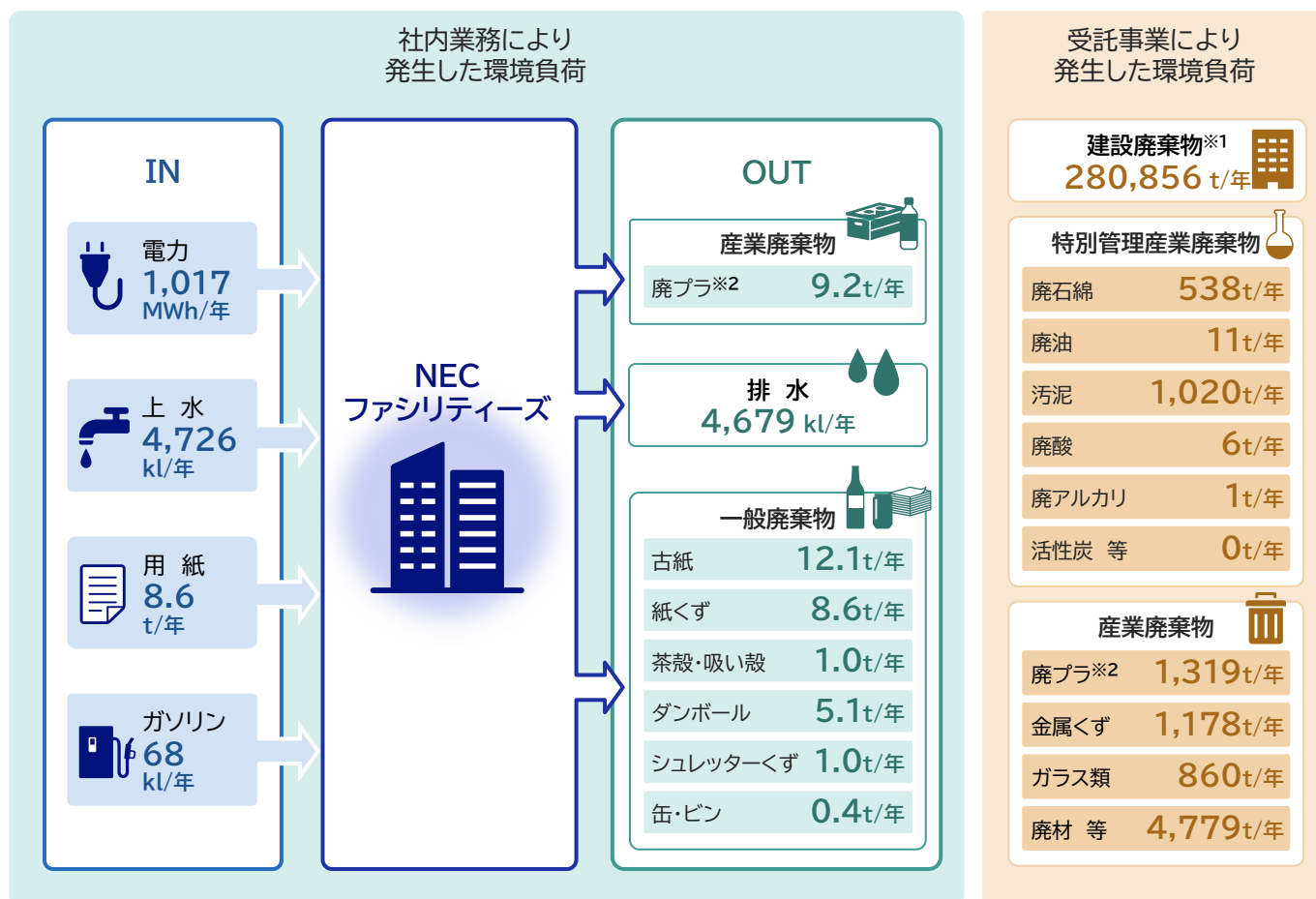


大新田ビーチクリーン（大分）



会社周辺クリーン作戦（米沢）

# 2021年度 環境負荷データ



※1:建設廃棄物についてはリサイクル率95%以上を達成しています

※2:廃プラについては「プラスチック資源循環促進法(通称:新プラ法)」に準拠した排出抑制や再資源化促進等の活動を実施しています。

## 【社内業務により発生した環境負荷】

**電力** : 本社(NEC第二別館)及び当社がテナント入居する13ビルの合算使用量です。

**上水** : 本社(NEC第二別館)の飲料及び生活用途での使用量です。

**用紙** : 当社全体のコピー用紙等の購入量です。

**ガソリン** : 当社全体の営業車燃料の購入量です。

**産業廃棄物** : 本社(NEC第二別館)で発生した廃プラの排出量です。 ※全てサーマルリサイクルされています。

**一般廃棄物** : 本社(NEC第二別館)で発生した事業系一般廃棄物の排出量です。

※古紙は機密文書、古紙、MIX紙の排出量です。

※古紙、ダンボール、シュレッダーくず、缶・ビンはマテリアルリサイクルされています。

※紙くず、一般ゴミ等はサーマルリサイクルされています。

**排水** : 本社(NEC第二別館)で発生した生活排水量です。

**省エネ法** : 電力使用量並びに都市ガス使用量の原油換算値は省エネ法特定事業者(原油換算1500kl)には該当しませんが、当社では省エネプロジェクトを発足し本社(NEC第二別館)及び当社がテナント入居する13ビルの省エネ推進を実施しています。

## 【受託事業により発生した環境負荷】

**建設廃棄物** : 建設元請け事業により発生した建設廃材等の排出量です。

**産業廃棄物・特別管理産業廃棄物**: 建設元請け事業やその他の受託事業で発生した廃プラ、廃石綿、廃酸等の排出量です。

# 2021年度 環境管理活動目標・実績

環境目的・目標	評価指標	目標値 / 実績値		評価
<b>目的 1</b> 重大環境事故・法令違反の未然防止。 目標：発生件数0件	発生件数 (件)	目標	0件	◎
		実績	0件	
目標①：事業内容や地域の特性を考慮し、想定した緊急事態対応訓練を実施する。 目標：実施率100%	訓練実施率 (%)	目標	100%	◎
		実績	100%	
目標②：NEC環境教育(eラーニング)を受講する。 目標：受講率95%以上	受講率 (%)	目標	95%以上	◎
		実績	100%	
<b>目的 2</b> ご提案書又はそれに準ずる帳票を活用した環境・省エネ提案を行う。 目標：1000件以上	提案件数 (件)	目標	1,000件	◎
		実績	1,247件	
<b>目的 3</b> NECF対象ビルの電力使用量を2017年度比CO <sub>2</sub> 換算で8.0%以上削減する。 目標：553.4 t-CO <sub>2</sub> 以下	13ビル 電力使用量	目標	553.4t-CO <sub>2</sub> 以下	◎
		実績	452.8t-CO <sub>2</sub>	
<b>目的 4</b> 生態系・生物多様性保全に寄与する活動に参加する。 目標：350件以上/保険、不動産、スタッフ	参加件数 (件)	目標	350件	◎
		実績	627件	

※「2021年度 当社環境管理実施計画書[進捗管理](全社版)」より抜粋

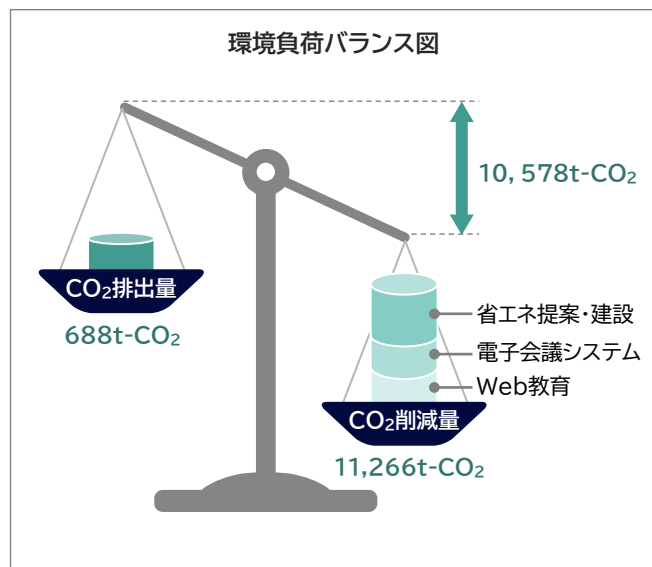
※ 評価基準 ◎:達成 ○:ほぼ達成 △:一部達成 ×:未達成

## 環境負荷バランス

下図は、当社が2021年度に「お客様への環境提案」や「社内の電子化」等により削減した「貢献CO<sub>2</sub>」をイメージしたものです。当社がお客様への省エネ提案や建設事業を通じて削減したCO<sub>2</sub>及び当社内での電子会議やWeb教育導入により削減したCO<sub>2</sub>の合算値は、約11,266t-CO<sub>2</sub>/年でした。

一方、当社内で電気・ガソリン・ガス・出張・紙等の使用による排出したCO<sub>2</sub>の合算値は、約688t-CO<sub>2</sub>/年でした。

上記の削減CO<sub>2</sub>から排出CO<sub>2</sub>を差し引いた約10,578t-CO<sub>2</sub>/年が当社の貢献CO<sub>2</sub>です。



区分	項目	t-CO <sub>2</sub>
削減貢献の部	1 当社の事業(サービス提供)による貢献CO <sub>2</sub>	
	1.1 省エネ提案による貢献CO <sub>2</sub>	11,223
	1.2 省エネ建築物の建設による貢献CO <sub>2</sub>	-
	2 植林活動の参加による貢献CO <sub>2</sub>	0
	3 電子会議システムの活用による削減CO <sub>2</sub>	35
4 Web教育の導入による削減CO <sub>2</sub>	8	
削減貢献量		11,266
排出の部	オフィスでのエネルギー使用	
	a a.1 電気使用(13ビル)	453
	a.2 ガス使用(玉川)	0
	b ガソリン使用	157
	c 出張(遠地出張)	70
d 紙使用	8	
使用・排出量		688
削減貢献量		10,578

# 2022年度 環境管理活動計画

環境目的・目標	目標値
<b>目的 1 重大環境事故・法令違反の未然防止。</b> 目標①：事業内容や地域の特性を考慮し、想定した緊急事態対応訓練を実施する。 目標②：NEC環境教育(eラーニング)を受講する。	発生件数 <b>0件</b> 実施率 <b>100%</b> 受講率 <b>95%以上</b>
<b>目的 2 エコアピールプロポーザルの推進を行う。</b> 目標①：ご提案書又はそれに準ずる帳票を活用した環境・省エネ提案を行う。	<b>1,000件以上</b>
<b>目的 3 NECF対象ビルの電力使用量を削減する。</b> 目標①：NECF対象ビルの電力使用量を2017年度比CO <sub>2</sub> 換算で10.7%以上削減する。 ※2017年度:電力使用量(CO <sub>2</sub> 換算:601.5t-CO <sub>2</sub> ) ※-8%算出式 601.5×0.893=537.1t-CO <sub>2</sub> /1218MWh ※CO <sub>2</sub> 換算係数 2017年度:0.491t/MWh 2021年度:0.441t/MWh	<b>537.1t-CO<sub>2</sub>以下</b> (1218MWh以下)
<b>目的 4 生態系・生物多様性保全に寄与する活動に参加する。</b> 目標①：500件以上/保険、不動産、スタッフ ※目標内訳：保険事業本部:150件、不動産事業本部:100件、スタッフ管理体:250件	<b>500件以上</b>

※「当社エコアクションプラン2022」より抜粋

## 環境コンプライアンス状況(法令順守)

当社は、定期的に環境関連法規制の順守状況を確認しています。

また、NECによる環境経営監査、環境法遵守監査をはじめ、社外の有資格者による相互内部環境監査の受審やNECグループ全従業員対象の行動規範Eラーニングでも環境コンプライアンス状況の確認を行っています。

2018年 6月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし  
 2019年 6月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし  
 2020年 7月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし  
 2021年 6月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし  
 2022年 6月 法律その他の要求事項確認結果 →不順守事項なし



NEC環境経営監査を受審

## 関連HPのご紹介

NEC (環境ページ) ▶ <https://jpn.nec.com/eco/ja/>  
 NECファシリティーズ ▶ <https://www.necf.jp/>

※HPアドレスは2022年7月現在のものです



Fun to share

みんなでシェアして、低炭素社会へ。

NECファシリティーズ(株)は『Fun to Share』に参加し、社員一丸となって、低炭素社会にむけた取り組みを行っています。

賛同  
宣言文

NECファシリティーズは、省エネソリューションサービスを通じて、人と地球に優しい低炭素社会の形成に貢献します。

ご質問/ご意見等をお寄せください…

ご質問/ご意見等がございましたら、お手数ですが下記の発行元/連絡先までお寄せください。

●発行元/連絡先

発行：2022年8月

連絡先：〒105-0014 東京都港区芝二丁目22-12(NEC第二別館)

NECファシリティーズ株式会社

IFM品質保証部

TEL:03-5476-5608 FAX:03-3455-2572